

2022年度活動計画報告書

2022年04月01日～2023年3月31日

【当会活動地の状況】

イスラム過激派の攻撃エリアが分散拡大。国内避難民 100 万人。死者 4,000 人。
露のウクライナ侵攻の影響も受け、さらに食糧難と貧困が深刻化。

モザンビーク共和国カーボデルガド州。アフリカ最大規模の天然ガス開発を一因として、2017年に勃発、2019年から激化しているイスラム過激派の攻撃は、ルワンダ軍や南部アフリカ開発共同体（SADC）との合同作戦を行い、武装勢力に占領された街を奪還する等、一定の成果を上げているが、攻撃はカーボデルガド州西のニアッサ州、南のナンプラ州にまで拡大しており、子どもの拉致・誘拐も増加している。

モザンビーク北部では2022年11月時点（OCHA）で、高レベルの急性食料不安に115万人が陥っている。主な原因として上述のテロ紛争に加え、露のウクライナ侵攻による食料価格の高騰がある。

当会活動州は「武力衝突と激貧の地」となっており、特に「食糧難」が当会でも取り組みの重要課題になっている。またテロ被災者支援活動が一過性ではいなくなったことや、ペンバ寺子屋に通所するスラムコミュニティや避難民の子どもたちの数が増加の一方で、現在総勢350名を超える子どもたちが寺子屋を頼りにし通所している。

一方で、テロ被災者支援活動により、必要な資金も膨らんでいるが、助成金を主体に資金繰りを行っている当会への寄付の実態は脆弱であり、生死に関わる活動の不足分をスタッフが手出しする悪循環にある。現在定期的な寄付者数は17名にとどまっているため、日本国内での国際相互理解推進活動も地道に続けながら、現地活動に注力した。

【2022年度の活動方針】

設立10年目の新たなる挑戦の基盤づくり。

子どもたちと青年、スタッフの命と健康を守りつつ、テロ紛争被災者支援に注力。

モザンビークのいのちをつなぐ会設立から10期目。支援の手が届きにくいモザンビーク北部で、唯一の草の根NGO団体として、現地住民や避難民のニーズを共に解決していく。

2022年度の活動に関して、引き続き、毎月日本事務所とモザンビーク事務局にてオンライン会議及び役員会を実施する。

★2022年に重視する行動・3つの柱★

- 1：食べられる：子どもたちもコミュニティの人もスタッフも皆が食べていける支援。
- 2：知られる：認知度の低い地から、現状と声を届けていく広報。
- 3：思いやる：困っている人を見逃さない、見捨てないコミュニティ文化の強化。

<注力項目>

- テロ紛争被災者支援…子どもたちへの配食活動と避難民の家、ナンプラ寺子屋の設備整備。
- 広報…「忘れられた州（Cabo Delgado→Cabo Esquecido）」から声をあげて支援を募る。

【2022年度の活動計画骨子】

<組織基盤整備> 長期的な活動の持続可能な体制づくり。

- ・ モザンビークスタッフのスキルアップ
- ・ **【緊急】** 車両の整備
- ・ 広報ツールの整備

<教育活動> カーボデルガド州ペンバとナンプラ州ナンプラ2箇所にて、寺子屋を運営。

- ・ ペンバ・ナンプラ寺子屋での子ども教育の継続
- ・ **【NEW】** 寺子屋ガールズ巾着プロジェクト
- ・ ペンバ・ナンプラ寺子屋の水環境の修理・整備
- ・ **【重要】** 欠食児童への配食活動
- ・ 平和教育活動

<公衆衛生と食育農業活動> 基本的衛生知識教育の普及と実践活動、食育及び農業活動。

- ・ 寺子屋と事務局でのこども公衆衛生・感染症対策教育
- ・ モリंगाとフルーツの育成による食べられる緑化

<環境保全活動> 美化習慣づけによる疾病予防と環境美化及び自然環境保全。

- ・ 第7回ペンバ環境美化活動

<テロ紛争被災者支援活動> 支援の光が当たらない被災者の命を守る活動。

- ・ ナティティ平和の家の整備（水道、深井戸）
- ・ **【NEW】** エспанサオン平和の家パース作成

<国際相互理解推進活動> 平和・相互扶助・国際交流をテーマとした講義公演活動。

- ・ 日本国内での講義公演活動

【NEW】 <小さな商いプロジェクト> コミュニティの経済と社会支援が回る地域に根付いた事業の創出。

- ・ 想定する事業のプレスト・具体化

【2022年度の主な活動】

- **組織基盤整備** 長期的な活動の持続可能な体制づくり。

《モザンビークスタッフのスキルアップ》

助成金獲得や起業のための基礎知識となるビジネスプランの創り方についての資料をポルトガル語で作成。

【緊急】《車両の整備》

当会が唯一保有している車両が故障し、寺子屋スタッフ及びコミュニティの人たちの移動や、急病、死亡時の緊急搬送が行えなくなっているため中古 SUV・ハイラックスを購入。またナンプラ寺子屋間の人と荷物の移動時にはトラックが必要であるが、大手機関が押さえてしまいレンタル費が高騰し、一般住民が使えなくなっているためトラック（キャンター）も当会で保有し、コミュニティで活用できる体制を整えた。



《広報ツールの整備》

2022年から2026年の中期計画書(8ページ冊子)の作成。また、当会のスタッフ100名は、スラムの職人やアーティスト、学生も含み、各人が部門ごとの活動を行っているが、各人の業務が、どのようにコミュニティに生きているのか、なかなか理解しづらいため、当会のスローガンである「小さいけれど、力もち！」の力の源と、そこから導く明日の姿をイラストで表現したビジョンマップをポルトガル語で作成し、裏面は日本語。SNSにおいては、Instagramを開始。



【 教育活動 】 カーボデルガド州ペンバとナンプラ州ナンプラ二箇所にて、寺子屋を運営。

《ペンバ・ナンプラ寺子屋での子ども教育の継続》

避難民の子どもも増加し、すでに寺子屋に通所する子どもが約 350 名を超えているため、設備の増強を行いながら読み書き、算数、英語、ICT 教育など多様な教育活動を継続していく。



ICT 教育の実施



時計の読み方教室



寺子屋 OB によるギター教室

【NEW】《寺子屋ガールズ巾着プロジェクト》

ペンバ寺子屋の女子及びOGによるアルバイト作戦！当会理事からの依頼により巾着 300 枚を裁縫職人の指導の元で実施。巾着は日本に送り、ルワンダのコーヒー豆を封入して販売している。



《ペンバ・ナンプラ寺子屋の水環境の修理・整備》

ペンバ寺子屋の深井戸水ポンプを修理。ナンプラ寺子屋は井戸の整備のため手掘りで挑戦するも岩盤が固く掘削出来ず撤退。インド人のボーリング会社に依頼し、垂直電気法で地質検査を行い、60m ボーリングを行ったが、水が出ず。遠方への水汲みを楽にする方法を考えながら、近隣への水道管の開通を待つことになった。



ペンバ寺子屋の井戸修理



ボーリング会社による地質調査の後、60m ボーリングを行ったが、水が出ず！

【重要】《欠食児童への配食活動》

ペンバ寺子屋の子どもたちの15%が1日1食以下であるため（2021年4月調査）、引き続き、朝パンと晩の豆シチューをほぼ毎日、月1、2回のお昼のイベント食の食料配布を継続した。



《平和教育活動》

イスラム過激派のテロ紛争により子どもたちの誘拐も数百人から千人と言われており、テロ紛争の被害者、加害者にならないため、正しい情報を与え、また寺子屋キッズと「平和の歌」のMPVの制作も実施。



<https://youtu.be/cq8P6MgJVCo>

チャンネル名：Natite Mozambique
タイトル：Nadja Luis - Axinamwane

【 公衆衛生と食育農業活動 】 基本的衛生知識教育の普及と実践活動、食育及び農業活動。

《寺子屋と事務局でのこども公衆衛生・感染症対策教育》

2017 年度から数えて第 6 回目となるこども公衆衛生教育の実施。コロナの影響はないが、避難民の流入によりコレラが流行しているため、劣悪な環境で衛生的に生きるための基本である、石鹸での手洗いや爪切り、歯磨き、洗剤の使用方法、アルコールの配布も行い、正しい感染予防の知識を供与。

2022 年度は、寺子屋の子どもたちの死者がゼロであったことは特記すべき重要な成果である！



毎日の手洗い



歯磨き教室



洗剤の配布

《モリンガとフルーツの育成による食べられる緑化》

栄養失調率が 6 割を超えるスラム地区でも栽培できる栄養価が高く、食用・薬として様々に活用できるモリンガ 500 本と、フルーツ 500 本を播種栽培し、スラム地区の各家庭に移植。スラム地区の街並みにモリンガ多く見られるようになってきている。



グァバの苗



移植



育ったモリンガを調理



当会活動によりモリンガが茂るスラム地区の路地

【 環境保全活動 】 美化習慣づけによる疾病予防と環境美化及び自然環境保全。

《第7回ペンバ環境美化活動》

美化メンバー26人中女性メンバーを17名採用し、毎日の家庭の美化と、公共の場清掃を9箇所と、これまで最大規模で実施した。貧困に喘ぐスラムの人たちの収入の確保と故郷の美化、環境保全意識を高める、疾病予防という4つの成果を両立した。



【 テロ紛争被災者支援活動 】 支援の光の当たらない被災者の命を守る活動。

《ナティティ平和の家の整備（水道・深井戸）》

ナティティ地区の避難施設である平和の家・Casa de Paz に水道を敷設、手掘り深井戸 40m も掘削設置し、ペンバ寺子屋同様に外壁まで配水管を通し、路地から水が汲めるように。避難民とコミュニティの住民の安全な水のアクセスが可能となった。避難民が6部屋に入居。1部屋は管理人室として活用している。



路地から長々と水道管の敷設。



平和の家敷地内にメーター設置。



平和の家の入居状況。



手掘りで掘削中。



外壁まで配水。



コミュニティの人たちも大喜び。

【NEW】《エспанサオン平和の家パース作成》

ナティティ事務所から車で 25 分ほどの距離にあるエспанサオン地区にも避難民が流入しており、避難施設が皆無、かつ安全な水のアクセスが困難なためエспанサオン地区にも平和の家を建築することを決定。



【 国際相互理解推進活動 】

平和・相互扶助・国際交流をテーマとした講義公演活動。

《日本国内での講義公演活動》

3年ぶりに関西、関東での公演を実施。東京11公演、埼玉1公演、山梨1公演、神奈川2公演、京都2公演、大阪11公演（うち小学校8公演）、岡山1公演、福岡4公演。全33公演で約2295名に来場いただいた。



【NEW】【 小さな商いプロジェクト 】

コミュニティの経済と社会支援が回る地域に根付いた事業の創出。

《想定事業のブレスト・具体化》

食堂、美容院、運送、パン屋、自動車整備、裁縫屋等。スラムの人たちが日常的に利用できるサービスやモノを提供する小さな事業を創出していくための基盤づくり。

現地は資材の調達も遠方まで行かねばならないため、出張を行いながら、見積をとる。経費が固まり次第、資金調達を行う。クラウドファンディングの実施も想定。

【メディア掲載】



データ・マックスの福岡の経済メディア、NetB-Newsに出演。

「モザンビークで国民的歌手ナジャさんと子どもの未来を担う」

モザンビークのいのちをつなぐ会

<https://www.data-max.co.jp/article/50085>

2022年10月収録



2023年11月11日読売新聞夕刊（広告）

以上

2022年度 (2022年4月1日~2023年3月31日迄)

収支計算表

団体名: 一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会		2022年度会計報告書	
		2022年04月01日~2023年03月31日	
		(単位:円)	
科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費		5,000	
2. 受取寄付金		4,498,000	
3. 助成金/17社・団体		20,174,468	
経常収益計			24,677,468
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
モザンビークスタッフ人件費	2,160,860		
人件費計	2,160,860		
(2)その他経費			
●寺子屋運営費			
アルバイト人件費	256,375		
ペンバ寺子屋配食活動食費	2,391,772		
ナンブラ寺子屋食費	537,288		
教材・奨学用品費	1,464,075		
平和教育メディア制作費	253,269		
建屋修繕費	208,791		
ナンブラ寺子屋水環境整備費	402,283		
ペンバ寺子屋水環境整備費	96,457		
備品費	74,023		
●公衆衛生活動			
資材費	1,156,340		
旅行交通費	46,299		
●環境美化活動			
アルバイト人件費	2,044,464		
資材費	1,226,361		
●環境保全・緑化活動			
指導者経費	58,413		
旅行交通費	329,363		
農機具・資材費	1,562,854		
運搬費	29,207		
●テロ紛争被災者支援活動			
職人・アルバイト人件費	819,289		
資材・建材費	1,025,569		
水環境整備費	501,645		
●国際相互理解推進活動			
旅行交通費	505,120		
広告印刷費	93,500		
国際交流メディア制作費	600,000		
●渡航費			
メンバー福岡渡航費	310,665		
宿泊費	57,219		
PCR検査費	14,447		
●通信費			
モザンビーク国内通信費	346,891		
その他経費計	16,411,979		
事業費計		18,572,839	
2. 管理費			
(1)人件費			
日本人件費	88,688		
ガード人件費	411,955		
人件費計	500,643		
(2)その他経費			
広報資料印刷費	269,500		
車両購入費 中古SUV	3,279,555		
車両購入費 中古トラック	1,350,405		
ガソリン代	202,214		
モザンビーク事務所維持費	263,844		
その他経費計	5,365,518		
管理費計		5,866,161	
経常費用計			24,439,000
当期正味財産増減額			238,468
前期繰越正味財産額			369,900
次期繰越正味財産額			608,368